

2023年11月6日

各位

会社名 株式会社昭文社ホールディングス
 代表者名 代表取締役社長 黒田 茂夫
 (コード番号 9475 東証スタンダード)
 問合せ先 取締役管理本部長 加藤 弘之
 T E L 03-3556-8171

2024年3月期第2四半期累計期間における連結業績予想と実績値との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

2023年5月15日に公表いたしました2024年3月期第2四半期累計期間の連結業績予想値と本日公表の実績値において差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。併せて2023年10月20日に公表いたしました2024年3月期の通期業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 2024年3月期第2四半期累計期間における連結業績予想と実績値との差異

(2023年4月1日～2023年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	2,750	△340	△290	△320	△17.60
実績値(B)	2,822	3	47	7	0.41
増減額(B-A)	72	343	337	327	
増減率(%)	2.6	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2023年3月期第2四半期)	2,411	△217	△155	△183	△10.10

【差異の理由】

当第2四半期累計期間における業績につきましては、旅行やお出かけの需要拡大期に合わせて新型コロナウイルス感染症法上の位置づけが5類に移行し、また全国旅行支援制度の延長による後押しもあって、旅行需要が高まったことにより、主に旅行関連の市販出版物、同サブスクリプションサービス及び電子書籍、さらに広告、特別注文品の売上が予想以上に伸びた一方で、DX活用や事業構造改革の効果が継続していることにより売上原価、販売費及び一般管理費が引き続き抑制されており、この結果、当初予想では営業損失の計上を見込んでいたものの、僅かではありますが営業利益を計上することとなりました。また、その改善幅3億43百万円がほぼそのまま以下の段階利益の改善につながり、経常利益において3億37百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益において3億27百万円、それぞれ前回発表予想から改善し、表記の結果となりました。

2. 2024年3月期通期連結業績予想の修正

(2023年4月1日～2024年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	6,250	30	100	1,580	86.92
今回修正予想(B)	6,370	80	150	1,380	75.92
増減額(B-A)	120	50	50	△200	
増減率(%)	1.9	166.7	50.0	△12.7	
(ご参考)前期実績 (2023年3月期)	5,553	132	234	30	1.66

【修正の理由】

2024年3月期の通期連結業績予想については、上記第2四半期累計期間における業績から、下期において特に市販出版物事業における売上が引き続き増加基調にあることを織り込み、かつ、売上原価、販売費及び一般管理費について最新の情報を元に見直したことで、営業利益は、前回発表予想から50百万円改善し、80百万円の見込みといたしました。これに伴い、経常利益は同じく50百万円改善し、1億50百万円の見込みといたしました。また、今回修正予想において2023年10月20日付の「固定資産の譲渡、特別利益の計上及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表した固定資産売却益を特別利益に含めておりますが、これに加え、旅行関連市場が順調な回復を見せる一方で、内外の金融政策の違いや地政学リスクからくる円安状態と相まってわが国においても数十年ぶりと言われる水準の物価高が進行しており、こうした状況が今後の景気回復基調に影響を及ぼすことも不安視されているため、この不透明な事業環境を踏まえ、一部の事業資産について当連結会計年度末において減損され特別損失に計上されることを予め業績予想に織り込み、また、以上の修正を踏まえた税金額への修正を行った結果、親会社株主に帰属する当期純利益は、前回予想から2億円減少し、13億80百万円の見込みといたしました。

以上